



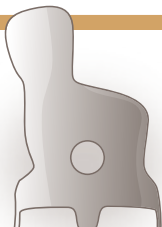
A

指の第三関節までの甲だけを抑えているタイプ。シリーズ中、手や指の制限を極力少なくしたもので、遅めのレーンに対応しやすいと共にポウラーの投球テクニックを生かすことができる特長をもっています。軽量で初心者のポウラーにも使いやすいタイプです。



B

中指と人差し指をブロックすることでポウラーが自ら手首のターンをすることを要求されます。ターンをさせられてしまうのではなく、こちらからターンをする必要があるため、ターンの加減が自分でコントロールしやすいことに繋がります。自ら自由なターン角度を作り出す技術で投球したいポウラー向けです。



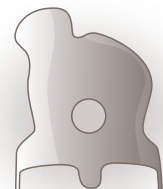
C

Aタイプに人差し指のブロックを付けたモデル。人差し指をブロックすることで、スイング中にターンが自然に行われてしまう特長があります。また、投球に対する方向性が安定すること、親指の抜けるタイミングが早くなること等も特長です。早めのレーンでの対応に優れています。



D

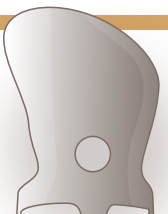
人差し指、中指、薬指をブロックするモデルです。人差し指のブロック効果が大いなので、Bタイプの特長を併せ持ち、さらに全体をブロックしているため、特に遅いレーンではボールを押し切れること、投球の仕方は早いレーンでの対応も可能という特長もあります。但し、中速のレーンでは、Eタイプには及ばないところがあります。



E

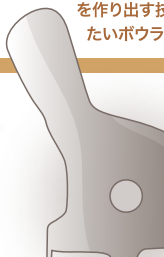
Dタイプをショートにしたモデル。シリーズ中、親指の抜けが一番早いタイプで、ボールのパフォーマンスを引き出しやすい特長があります。ポウラーの有する投球技術が生かされてくるので、上級者には必須アイテムと言えるでしょう。中速から早めのレーンでその適応力を発揮します。

なるほど  
こういうことか



F

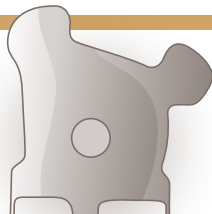
手の甲全体をブロックしているタイプ。Dタイプと比較すると、ソフトにブロックするため投球がしやすく、強烈なパフォーマンスを抑えて、穏やかなボール軌道を作り出します。レーン状態には幅広く対応する機能を持っていますが、少し控えめな対応だと考えてください。自分の投球技術を楽しめるゆとりがあります。



G

「MC-4」の長さを耐久強度を最大にして手の大きいポウラーの為に開発しました。機能としては「MC-4」の延長上にあると考えてください。ターンがしやすく、早いレーン向きなタイプです。

- ノーマルタイプの製造のみです。
- ノーマルボックスとなります。



H

人差し指と小指をブロックするタイプです。オーバーターンを抑える効果を持っています。ターンが少なくなるため、サムスの抜けが早いEタイプに似たショートタイプになっています。Eタイプのターンを抑えるタイプです。



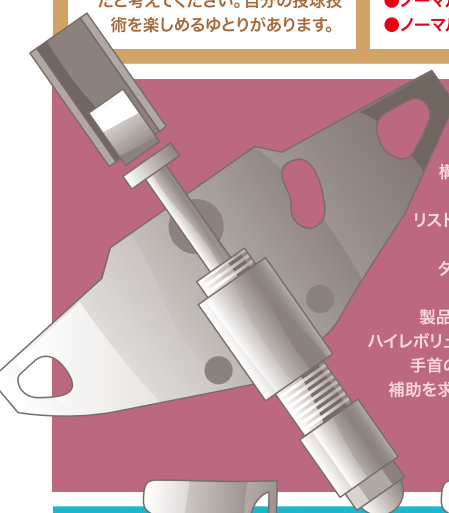
FW

Hタイプのソフトバージョンです。オーバーターンを抑えてボールの走りを追及しています。中速から少し遅めのレーンで威力を発揮します。

品番からわかる  
メカテクターの  
特長と性能



EXCLUSIVELY DISTRIBUTED BY  
SUNBRIDGE



このVシリーズはダンパー(フロント)部分の可動域を大きくとれる構造になっているのが特徴です。スプリング効果によってリストのスナッピング効果を補正し、リストの補強ばかりでなくダンパーを受ける衝撃を吸収し、スムーズな投球感覚と製品の耐久性を向上させています。ハイレギュレーションを目的とした投球や手首の自由を求めながらもリストの補助を求めたい女性ポウラー向きです。

Vボックスの時のみ  
頭が「V」になります

2番目のアルファベットは  
「フロント」の種類を表しています

# MD-4DX

ハイフン右横の数字は  
「ベース」の種類を表しています

板(ジョイント部分)  
の種類を明記



1

片羽根タイプ

片方に羽根が付いているモデル。リストの安定性と自由度の両方を併せ持っています。

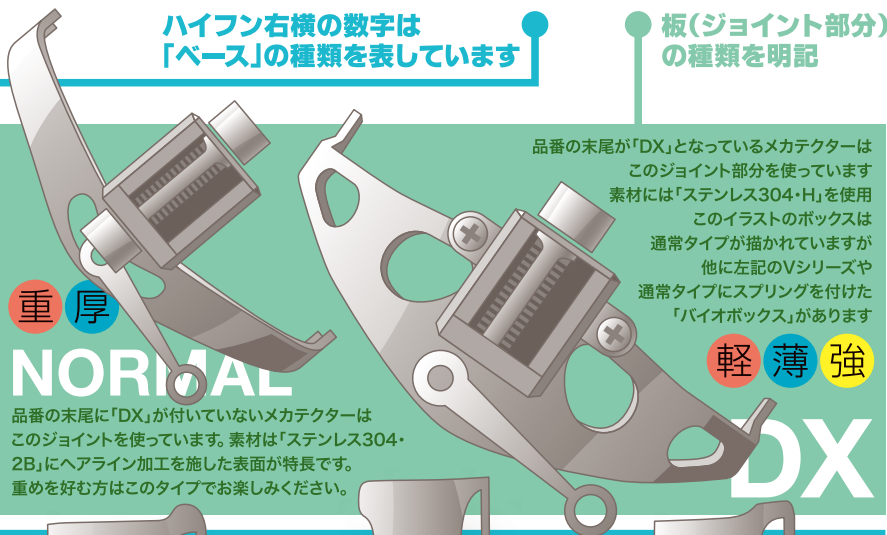


2

片羽根タイプ

片方に羽根が付いているモデル。リストの安定性と自由度の両方を併せ持っています。

- 1よりも5mm程度長い



重厚

NORMAL

品番の末尾に「DX」が付いていないメカテクターはこのジョイントを使っています。素材は「ステンレス304・2B」にヘアライン加工を施した表面が特長です。重めを好む方はこのタイプでお楽しみください。

軽薄強

DX

品番の末尾が「DX」となっているメカテクターはこのジョイント部分を使っています。素材には「ステンレス304・H」を使用。このイラストのボックスは通常タイプが描かれていますが、他に左記のVシリーズや通常タイプにスプリングを付けた「バイオボックス」があります。



3

両羽根タイプ

片羽根タイプよりも腕をしっかり包み込むので、安定性が高いです。



4

両羽根タイプ

片羽根タイプよりも腕をしっかり包み込むので、安定性が高いです。

- 3よりも5mm程度長い



5

両羽根タイプ

1~4番の羽根よりも幅が狭いモデル。3と4番よりも腕の自由があり、安定感もあります。

- 羽根幅が狭いモデル



6

両羽根タイプ

両羽根タイプで最大のロングモデル。両羽根タイプで最大のロングモデル。両羽根タイプで最大のロングモデル。両羽根タイプで最大のロングモデル。

- ノーマルタイプの製造のみです。
- ノーマルボックスとなります。



7

羽根なしタイプ

羽根がないモデルなので、手首が解放され自由な動きに対応できると同時にリフト効果を高めることもできるタイプ。自らの投球技術を楽しみたいポウラー向き。